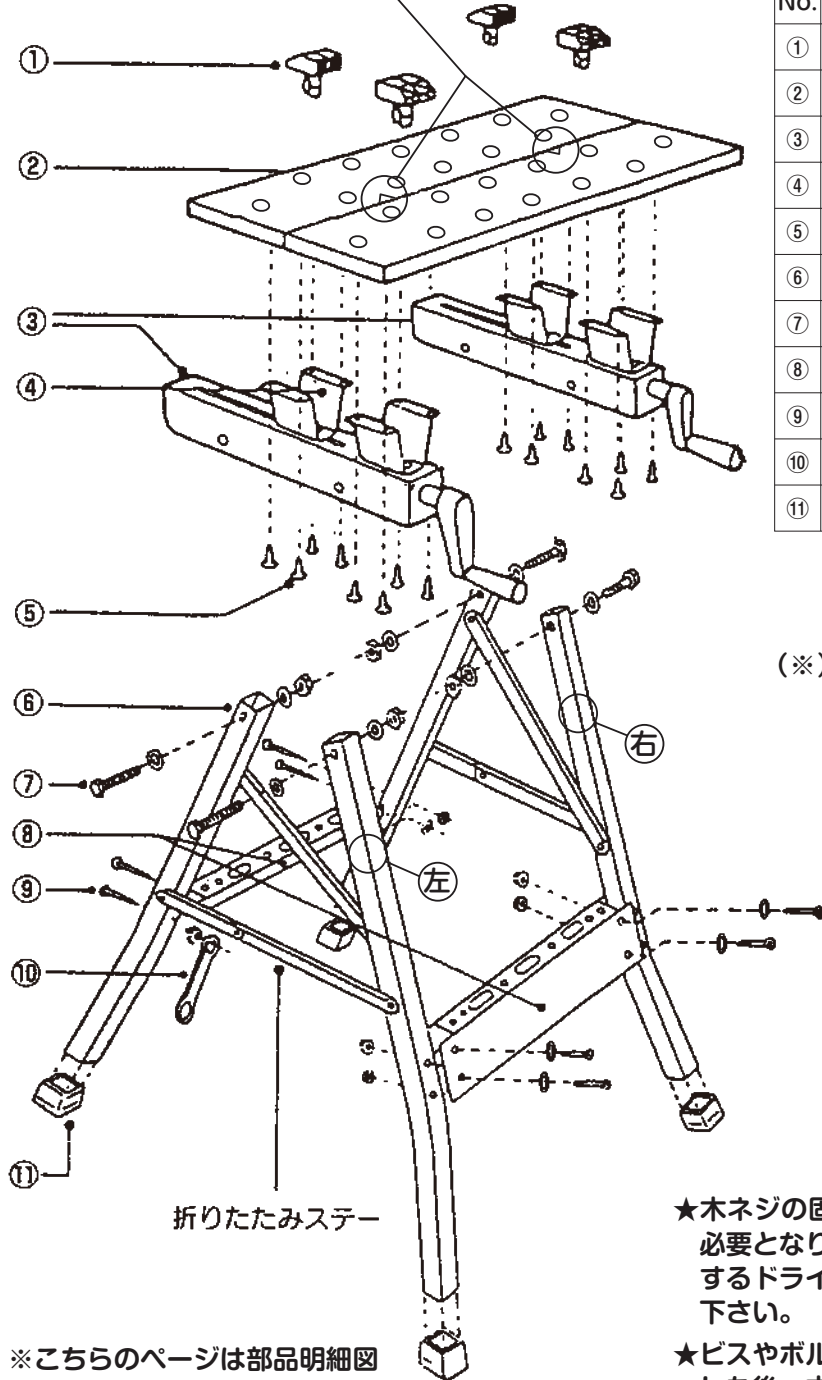


## 部品明細図

テーブル板は切り込み(V型のミソ)がある方が内側になります。



| No. | 品名            | 数量 |
|-----|---------------|----|
| ①   | バ イ ス         | 4  |
| ②   | テーブル板         | 2  |
| ③   | スライドベース       | 2  |
| ④   | テーブルサポート      | 4  |
| ⑤   | 木ネジ (テーブル取付用) | 16 |
| ⑥   | 脚フレーム (※)     | 2  |
| ⑦   | ボルトナット (太)    | 4  |
| ⑧   | ツールラック        | 2  |
| ⑨   | ボルトナット (細)    | 8  |
| ⑩   | 組立用スパナ        | 1  |
| ⑪   | 脚カバ ー         | 4  |

(※)脚フレームに貼付している  
右(左)シールに合わせて組み立てて下さい。

★木ネジの固定には、ドライバー⊕No.2が必要となりますので、ご用意下さい。使用するドライバーは軸の長いタイプでご使用下さい。

★ビスやボルトナットは、仮締めで組み立てた後、本締めをして下さい。

★①ビスはお好みの位置にあわせてご使用下さい。

※こちらのページは部品明細図ですので、組立手順に関しては3ページの説明をご覧ください。

折りたたみステー

## 組立のポイント

- 組立部品が、きつい場合は、無理な力ではめたりせず、木づちやプラスチックハンマー等で軽くたたいて下さい。
- ネジやボルト類は、1本毎に強く締めずに、パーツ毎の全てのネジ・ボルトを軽く締め(仮締め)、最後に全てのネジ・ボルトを強く締めて下さい(本締め)。

## 組立説明

### 1 脚カバーの取付け方法

1. ⑥脚フレームに⑪脚カバーを差し込みます。  
⑪脚カバーには方向性があります。  
凸凹している面を上にした場合、一番短い箇所が内側、一番長い箇所が外側へ向くように取付けて下さい。(4か所)

### 2 ツールラックの取付け方法

1. ⑥脚フレームに⑧(左)シールが貼付してある方を前面の位置にくるようにし、⑧(右)シールの方向に向きを合わせます。
2. ⑥脚フレームに⑧ツールラックの穴の位置に合わせて⑨ボルトナット(細)で固定して下さい。

### 3 テーブル板の取付け方法

1. ②テーブル板2枚の裏側(小さなネジ穴のある方)を上向きに、切り込み(V型のミソ)がある方を内側に向けてピッタリと揃えます。
2. ②テーブル板のネジ穴と③スライドベースの④テーブルサポートのネジ穴の位置が合うように、ハンドルレバーを回して間隔を調整して③スライドベースを②テーブル板の上に置いて下さい。
3. ⑤木ネジ16本で固定します。  
木ネジの固定には、かなり力が必要ですが、木ネジの頭をつぶしたり、力を入れすぎてケガをしないよう、ご注意ください。電気ドライバーを使用すると、能率良く、簡単に作業ができます。

### 4 脚フレームの取付け方法

1. ②テーブル板を取り付けた③スライドベースを⑥脚フレームの上のせめます。  
この際、⑥脚フレームに⑧(左)シールが貼付してある方をハンドルレバー側の位置にくるようにして下さい。
2. 穴の位置に合わせて、⑦ボルトナット(太)を通します。(平座金は両側に通して下さい)  
締め付けの際は、メガネレンチ13mmを2本用意して、ボルトとナットの両側から締め付けて下さい。  
または、ナットを⑩組立用スパナで固定させた状態で、ボルト(頭が+形状)をドライバー⊕No.2で締めつけて下さい。  
(注2) ⑦ボルトナット(太)は、あまり強く締め付けますと、折りたたみが困難になります。

### 5 組立後の点検内容

1. 工作台全体がねじれたり変形が無いでしょうか。
2. ネジ、ボルト等の締め付けは十分でしょうか。
3. ⑥脚フレームは折りたたみステーが直線になるまで、確実に開いた状態でしょうか。

### 6 バイスの取付け方法

1. ①バイスが必要な場合は、②テーブル板の穴に任意で差し込み、ご使用下さい。  
※木製テーブルのため、テーブル板の穴サイズに多少のバラツキがあります。①バイスをテーブル板に差し込む際、穴がきつい場合は木づち・プラスチックハンマー等で数回たたいて下さい。  
外す場合は下側からたたいて下さい。

